

氏名	押野 修司	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	小児作業療法、3Dプリンタの養成教育への導入、乗馬姿勢の運動学的解析				
学位	修士（リハビリテーション）				
学歴	2003年筑波大学大学院教育研究科修士課程修了、2017年首都大学東京大学院人間健康科学研究科作業療法科学域博士後期課程単位取得退学				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	埼玉県作業療法士会（理事）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（理事）、動物介在教育・療学会（副理事長）、日本作業療法士協会、日本COG-TR学会、埼玉コグトレ研究会（アドバイザー）				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	発達段階×領域別で理解度up!イラストと動画で学ぼう人間発達学	共著	あり	診断と治療社；P.259	笹田哲、有川真弓、井口知也、石附智奈美、奥村智人、小澤恭子、 <u>押野修司</u> 、小野治子、鎌田樹寛、神作一実、午膳昌利、小林隆司、近藤敏、篠原和也、白井はる奈、助川文子、関勝、仙波浩幸、竹原敦、田中春野、田村文誉、堤ちはる、富田浩、中村拓人、新田収、濱田匠、藤谷朝実、村仲隼一郎、吉岡和哉、吉田敦子	2023.10
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	意思表示を補助する3Dプリンタ自助具の提案	共同	日本リハビリテーション連携科学学会 第24回大会、さいたま市		○三浦永遠、奥山碧、佐々木大耀、安田尚冴、吉川拓人、 <u>押野修司</u> 、小池祐士	2023年6月
2	3Dプリンタを用いた自助具開発ゼミの取り組み	共同	日本リハビリテーション連携科学学会 第24回大会、さいたま市		○吉川拓人、三浦永遠、奥山碧、佐々木大耀、安田尚冴、 <u>押野修司</u> 、小池祐士	2023年6月
3	3Dプリンタを活用した固定式ペットボトルキャップオープナー自助具の作製	共同	日本リハビリテーション連携科学学会 第24回大会、さいたま市		○佐々木大耀、吉川拓人、三浦永遠、奥山碧、安田尚冴、 <u>押野修司</u> 、小池祐士	2023年6月
4	片手でゴミ袋を結ぶ3Dプリンタ自助具の提案	共同	日本リハビリテーション連携科学学会 第24回大会、さいたま市		○安田尚冴、佐々木大耀、吉川拓人、三浦永遠、奥山碧、 <u>押野修司</u> 、小池祐士	2023年6月
5	2Dプリンタを用いた自助具作製教育プログラムの効果検証	共同	第56回日本作業療学会、宜野湾市		○小池祐士、 <u>押野修司</u> 、笹尾久美子、久保田富夫	2023年11月
6	介護老人福祉施設における高齢者と伴侶動物の共生のための支援内容－介護職員への個別インタビュー調査結果のSCAT分析－	共同	動物介在教育・療学会 第16回学術大会、諫早市、雲仙市		○田島明子、安藤孝敏、 <u>押野修司</u> 、安野舞子	2023年10月

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生活環境技術学		4	3年生必修。3Dプリンタを活用した自助具の作業療法学生としてのアイデアをグループ学習させた。クラス内におけるプレゼンテーションを課題とした。中間発表会により進捗状況を把握し、最終発表会ではコンテスト形式で投票、学生相互評価を実施した。	
2	作業療法概論		1	1年生必修。「発達期領域における作業療法」をテーマに発達期の作業療法の特徴について、事例を通して概要について講義した。	
3	地域作業療法学		2	3年次必修。「発達領域の地域作業療法」をテーマに地域での作業療法の臨床経験に基づき、地域リハビリテーションの定義、発達領域の作業療法の歴史、家族支援、余暇支援について講義した。	
4	小児保健看護学（健康開発学科）		2	1-2年生選択。発達時期の子どもの障害とその対応について講義した。資料は動画教材、静止画を多く使用し、福祉用具についても提示した。	
5	ヒューマンケア論		2	全学1年生必修。「ヒューマンケアの視点から考える作業療法とは：「発達障害領域」（主として就学前）」をテーマに臨床経験の具体例と、ヒューマンケアに対する考えを述べた。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	発達期作業療法学演習	○	15	3年生必修。小児の発達マイルストーンについて、作業遂行課題（遊び、食事、排泄、更衣、整容）、作業遂行要素（運動、感覚-知覚-認知、心理、社会機能）に分け、動画、静止画を多く使用した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	臨床作業療法技能実習		4.5	2年生必修。2年次後期（春季休業期間）に配置されている臨地体験実習（身体機能）の3週間の準備のため、臨床場面で多く用いられるADL指導（更衣動作）の評価と治療について講義と演習を担当した。デモンストレーションでは患者役を行った。	
2	作業分析学実習		4.5	2年生必修。3Dプリンタを活用した自助具の作業療法学生としてのアイデアをグループ学習させた。クラス内におけるプレゼンテーションを課題とした。中間発表会により進捗状況を把握し、最終発表会ではコンテスト形式で投票、学生相互評価を実施した。	
3	発達期作業療法学実習	○	8	3年生必修。観察・面接、乳幼児発達スケールに関する講義と子どもの発達状況の把握とさらなる発達を促進するための提案を行うことを目的に、教員が子ども、保護者へのかかわり方を例示し、学生にかかわり方を指導した。越谷市子ども家庭部保育入所課に依頼し、保育所見学実習（1日）を実施し、目標設定、結果報告、振り返り・情報交換会を実施した。	

4	臨地総合実習（身体機能・精神機能）		1期2023.4.10-5.26 2期2023.6.5-7.21	4年生必修。1期3名、2期3名を担当した。中間訪問により、学生と指導者の実習状況を把握し、必要に応じて課題量の調節を依頼した。中間訪問は、実習病院の状況を把握し、訪問可能であれば対面、訪問不可の場合は、電話又はzoomの中間訪問とした。
5	IPW実習		2023.10.3-10.6	4年生必修。県立大学学生5名（看護2、理学1、社子1、行動1）のチームを担当した。対面実習および実在する事例であった。児童発達支援事業所における多職種連携を学んだ。
6	臨地体験実習（高齢期・発達期）		2024.2.19-3.10	3年生必修。発達期を志望する学生18名を担当した。全ての学生がコロナ対応1週間+1週間遠隔事例検討に参加した。遠隔事例検討は、臨床家3名を登用し、4事例準備した。4事例共、小児作業療法を経験した卒業生3名が担当した。事例検討を深めるため、毎日Zoomにて事例に関する情報共有およびディスカッションを実施した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	4年 2023.4-2024.3 3年 2023.6-2024.3	主指導	4年：5名 3年：8名 副指導 0名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	感覚運動遊び支援実践研修（保育士・幼稚園教諭等）	埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修	2023年9月
2	感覚運動遊び支援実践研修（保育士・幼稚園教諭等）	埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修	2023年10月
3	令和5年度厚生労働省指定第1回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）世話人	一般社団法人埼玉県作業療法士会	令和5年度厚生労働省指定第01回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）リリース講師、グループのファシリテータ	2023年7月
4	令和5年度厚生労働省指定第3回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）世話人	一般社団法人埼玉県作業療法士会	令和5年度厚生労働省指定第3回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）リリース講師、グループのファシリテータ	2024年3月
5	令和5年度誠会「チームビルディング研修」講師	社会福祉法人誠会	チームパフォーマンス向上、チームメンバーの関係強化、中堅従業員のリーダースキルの育成（2回）	2024年1月、2月
6	令和5年度埼玉県立大学「専門職連携を学ぶ講座」多職種チームによる実践事例研修	地域産学連携センター	研修講師。受講者が経験した自施設の事例についてチームで検討し、連携における課題の明確化、解決策の模索などを行い理解を深めた（3回）。	2023年10月～11月
7	令和5年度埼玉県立大学「専門職連携を学ぶ講座」多職種チームによる実地実習（IPW実習）	地域産学連携センター	病院・施設の協力を得た実地実習（オンライン+対面）を通して、利用者中心の質の高いケアを創造するための「課題解決プロセス」「チーム形成プロセス」に目を向け、専門職連携のあり方の理解を深めた（3回）。	2023年10月～11月
8	埼玉未来大学ライフデザイン科・通学コース「心をつなぐコミュニケーション」	公益社団法人いきいき埼玉	人とのつながり方をより豊かにするための、コミュニケーションのあり方を考える（1回）。	2023年4月

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	一般社団法人 日本作業療法士協会	事例報告登録制度 一般事例A審査員	2021.9~現在	
2	一般社団法人 日本作業療法士協会	日本作業療法学会 演題審査委員	2021.1~現在	
3	一般社団法人 日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」編集委員会 第一査読者	2021.4~現在	
4	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	理事、学術部長	2021.6~現在	
5	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	学術誌「埼玉作業療法研究」編集委員	2000.4~現在	
6	日本リハビリテーション連携科学学会	学術誌「リハビリテーション連携科学」査読委員	2020.6~現在	
7	特定非営利活動法人 動物介在教育・療法学会	副理事長	2021.1~現在	
8	特定非営利活動法人 動物介在教育・療法学会	学術誌編集委員	2021.1~現在	
9	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事、会計委員長	2022.4~現在	
10	埼玉コグトレ研究会	アドバイザー	2021.4~現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ小学生対象講座「3Dプリンタを使ってみよう」(2回)		2023.7-8
2	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ中学生対象講座「3Dプリンタを使ってみよう！」(1回)		2023.7-8
3	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ高校生対象講座「3Dプリンタを使った作業療法」(1回)		2023.7
4	全学的委員会及びセンター業務等	千間台西地区子ども会と連携事業「3Dプリンタを使ってみよう」		2023.7
5	全学的委員会及びセンター業務等	リアル体験教室「3Dプリンタを使う作業療法士になりたい」		2023.7
6	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ専門職スキルアップ講座「現場で使える3Dプリンタの活用方法」(随時6回開催)		2023.12
7	全学的委員会及びセンター業務等	出張講座「作業療法概論」(静岡県伊豆伊東高等学校)		2023.11
8	全学的委員会及びセンター業務等	子ども大学こしがや・まつぶし「感覚って何？感じ方って人それぞれ！友だちの感じ方を考えてみよう！」		2023.11
9	学生支援	文科省、特許庁、日本弁理士会、(独)工業所有権情報・研修館主催「令和5年度パテントコンテスト」の学生指導、支援		2023.6-2024.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			